

リッセ
lisse Smiley
2連引込インセットタイプ
《扉施工用》

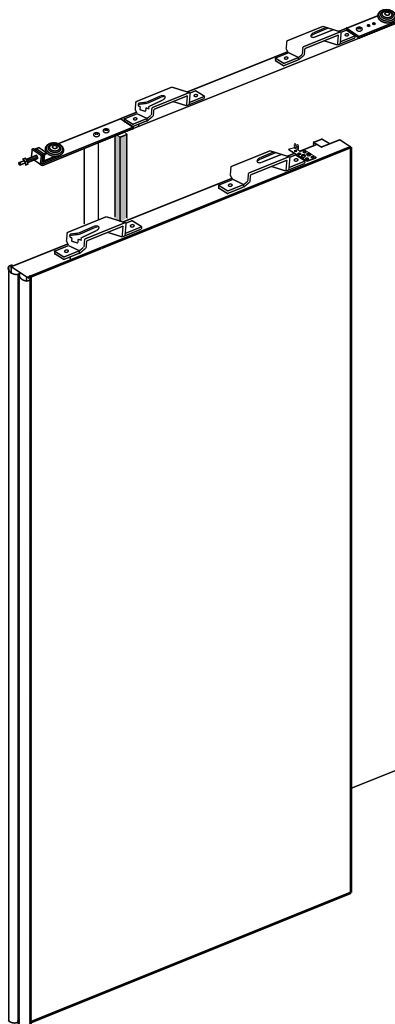
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

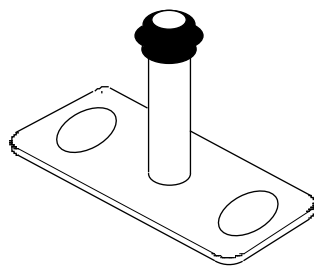
枠 梱 包

扉本体



振れ止めガイド
※ビス付き

1



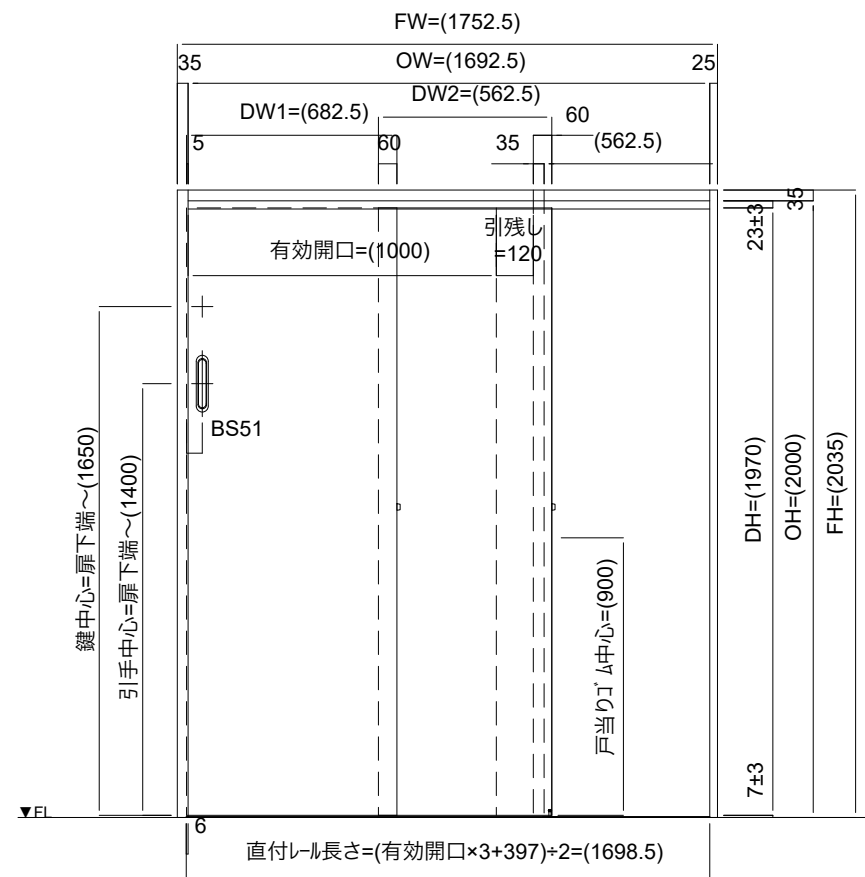
戸当りゴム
※ビス付き

2

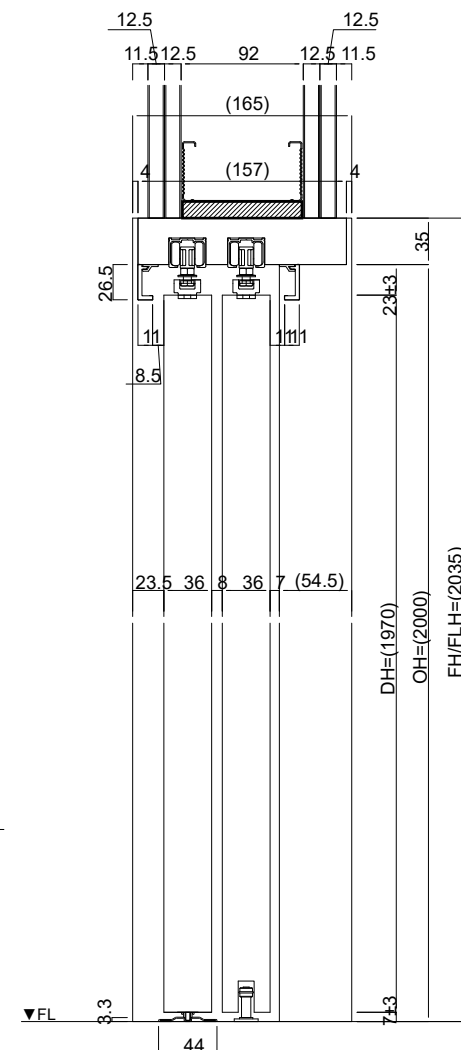


納まり図

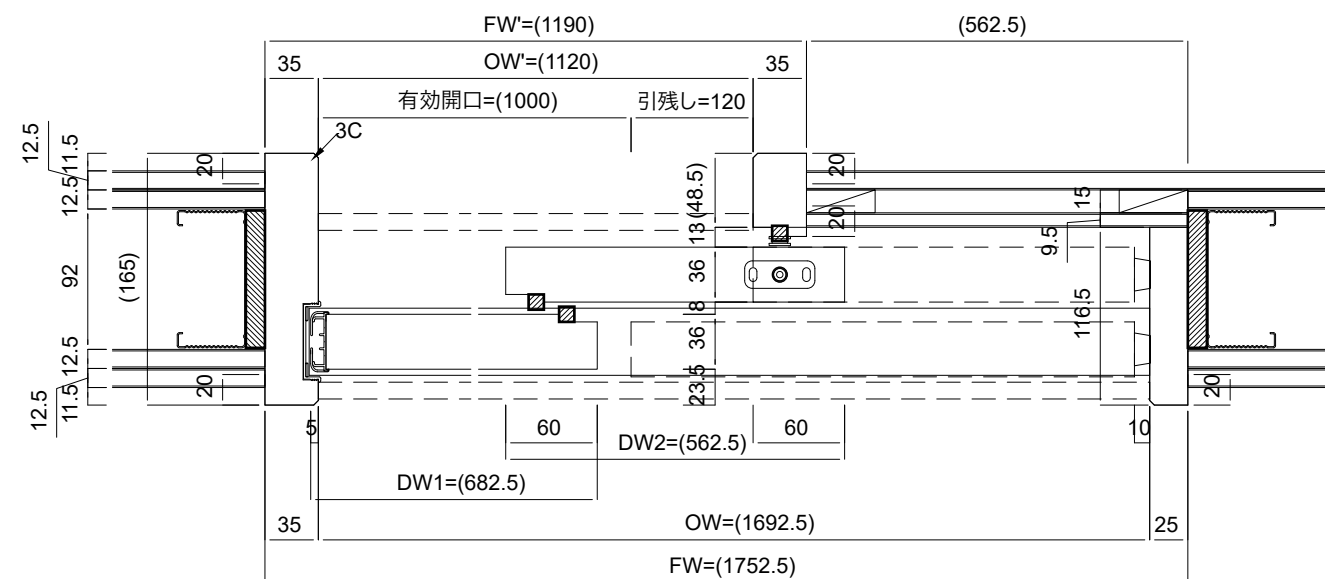
【姿図】



【縦断面図】

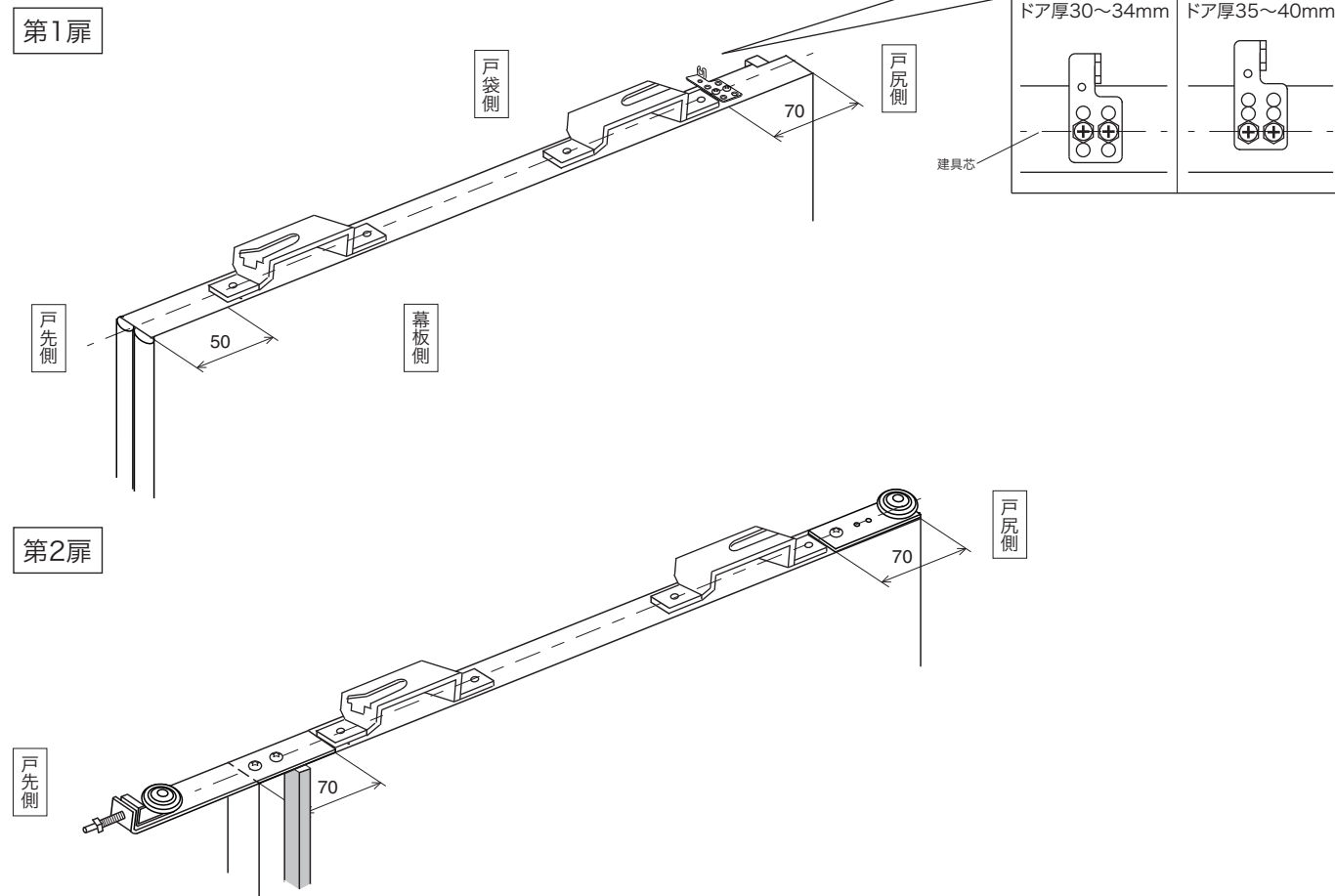


【横断面図】



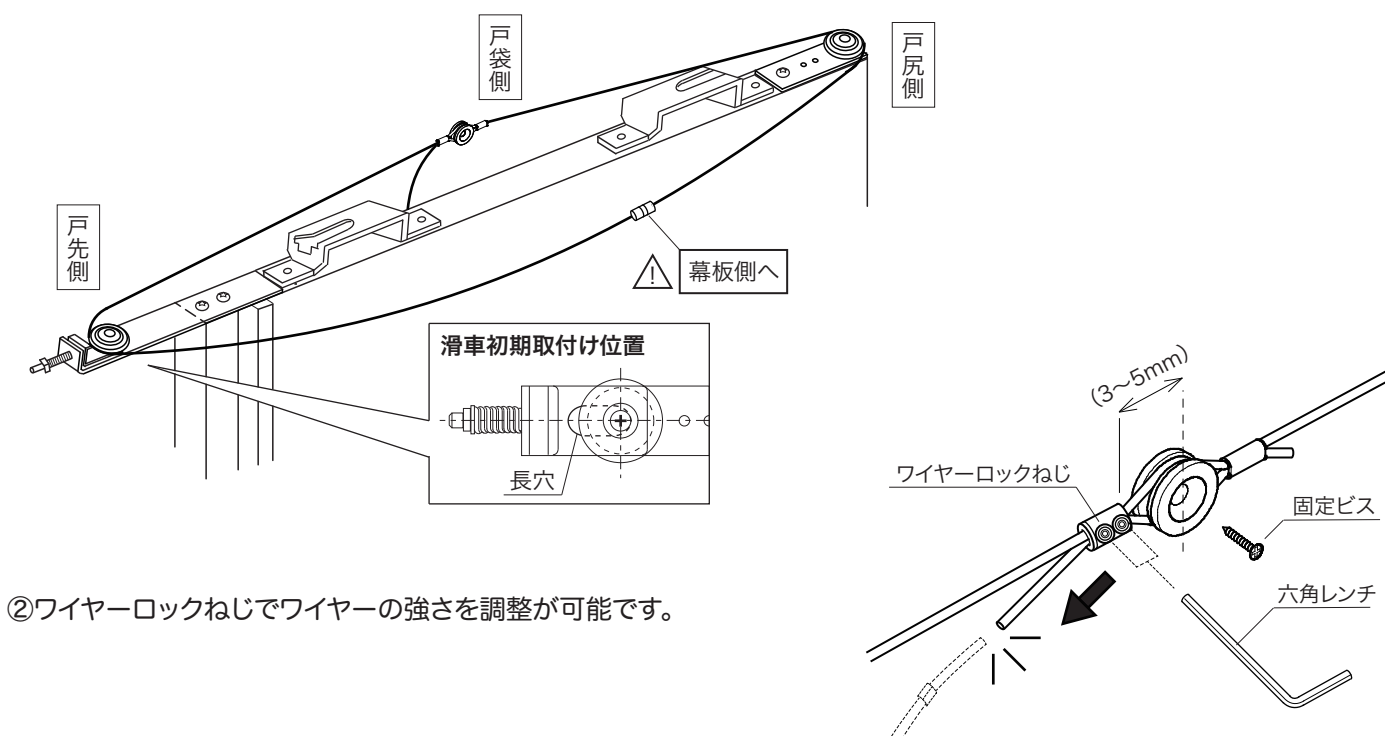
1. ワイヤーの取付け

《扉金物の取付け確認》※工場出荷時に設置済



《ワイヤーの取付け確認》

①第2扉の両滑車にワイヤーが通っています。



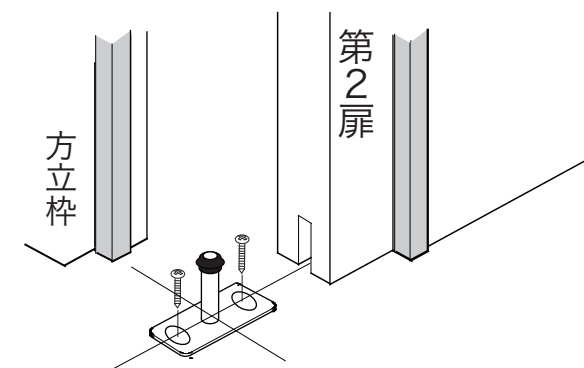
②ワイヤーロックねじでワイヤーの強さを調整が可能です。

2. 扉の吊込み

＜振れ止めガイドの取付け＞

①振れ止めガイドを取り付けます。
付属のビスをご使用ください。

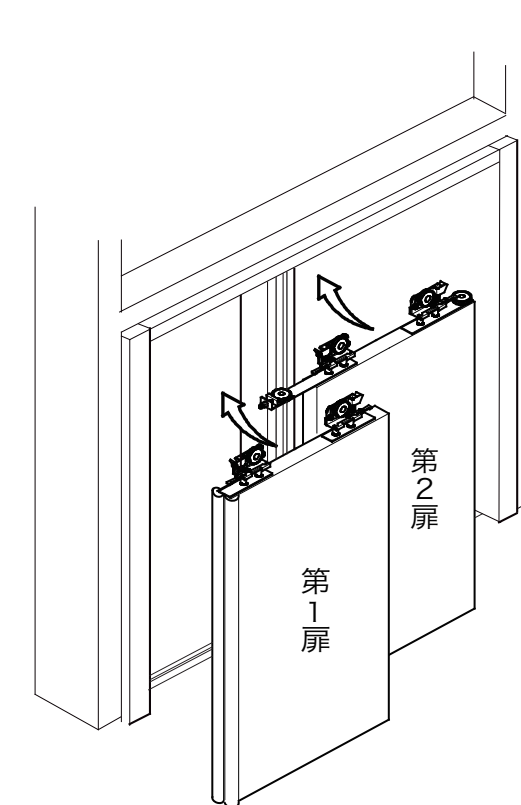
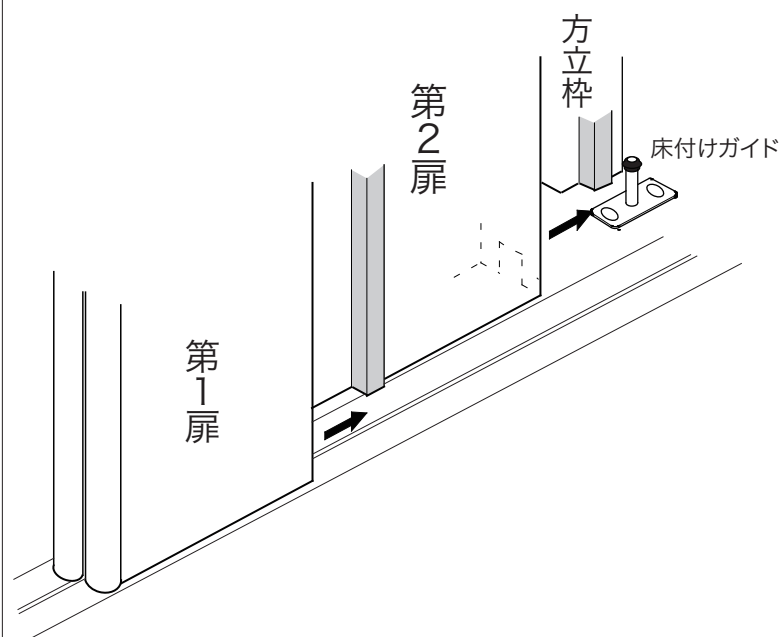
取付け位置は、図のように第2扉と方立枠の中心に合わせてください。



＜扉の吊込み取付け＞

②扉2扉を吊り込んでください。
まず、床付けガイドに第2扉の下の溝を合わせてください。
次に、扉上部についたハンガープレートに
吊車を差し込み、ボルトを締めて固定してください。

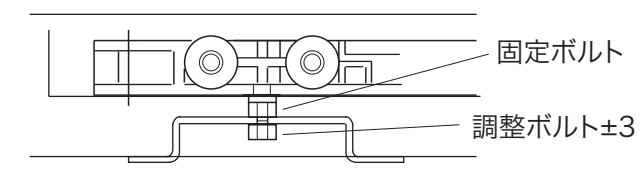
④次に、第1扉の戸車を直付けレールに合わせ
第2扉と同様に上部吊車を固定してください。



ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認してください。正常に作動しない場合は扉をカチッというま
で閉じ、再度確認してください。

⑤必要に応じて扉の高さ調整を行ってください。

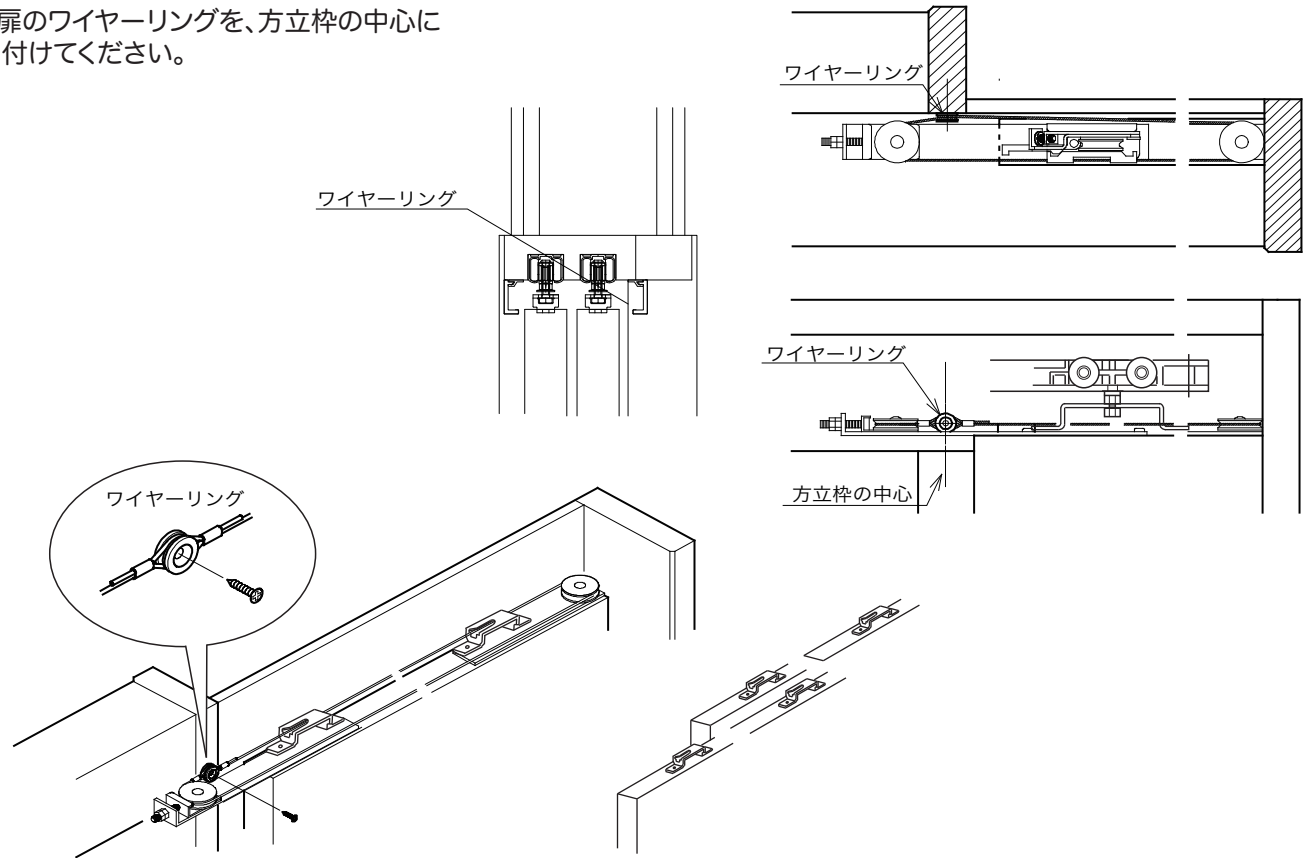
注意 高さ調整後、必ず固定ボルトをしっかりと締めてください。扉の落下に繋がります。



左に回すと扉が下がります。
右に回すと扉が上がります。

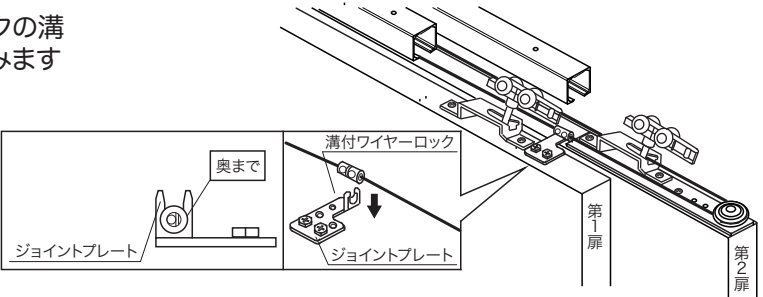
6. ワイヤーリングの取付け

①第2扉のワイヤーリングを、方立枠の中心に取り付けてください。



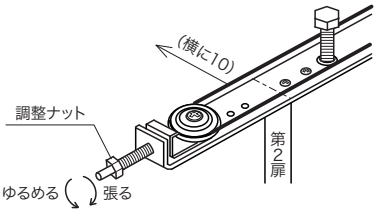
7. ワイヤーの接続

①第1扉と第2扉をずらした状態で、溝付ワイヤーロックの溝部をジョイントプレートの切り欠きの奥まではめ込みます（パチンと音がするまで）。

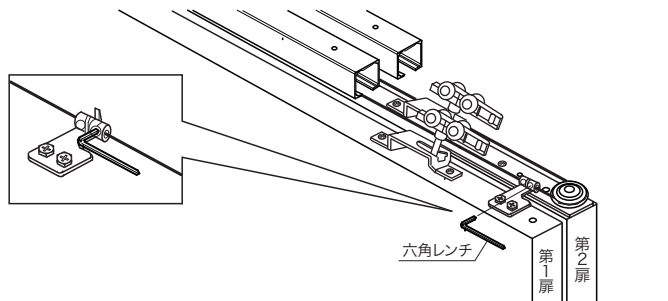


②必要に応じて調整ナットでワイヤーの張りを調整してください。

※調整は扉を引き込み、戸当りに当てた状態で行ってください。
ワイヤーの張りは10mm広がる程度です。



③第1扉と第2扉を戸尻を揃えて**全開状態**にした後、溝付ワイヤーロックのねじを六角レンチで強く締めます。

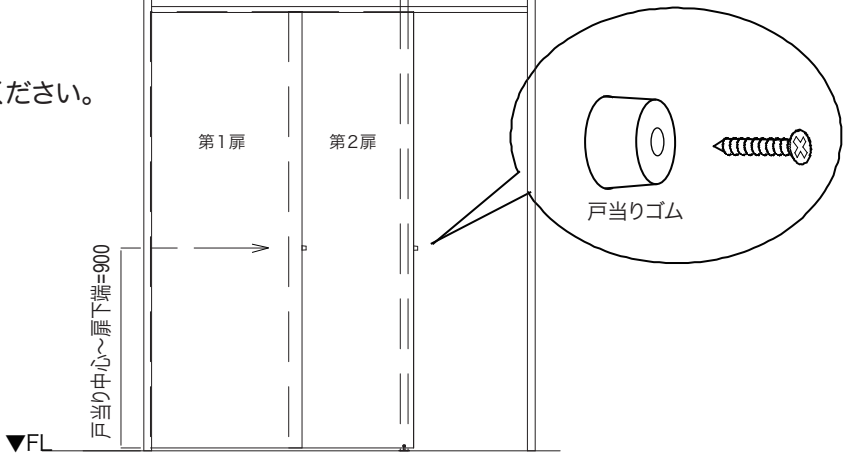


9. 部品の取付け

<戸当りゴムの取付け>

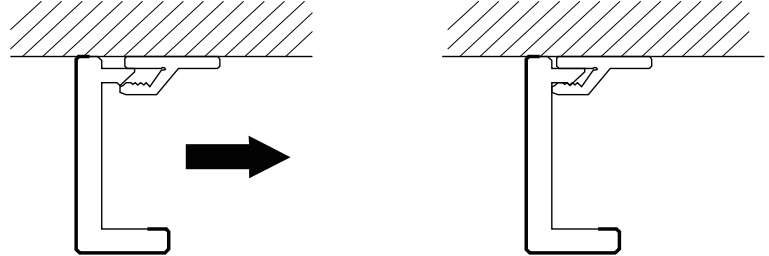
①戸当りゴムを扉戸尻側へ付けてください。
付属のビスをご使用ください。

取付け位置は扉の下端～900を中心としてください。



<ハンガーカバーの取付け>

①上枠の受け材にハンガーカバーを固定してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。